

産廃処分場計画「不許可に」



西尾の住民団体 知事に要望書

西尾市一色町で産業廃棄物最終処分場の建設計画に反対する住民団体「三河湾沿岸の環境・生活・産業を守る会」は六日、建設を許可しないよう、二万六千四百七十人の署名を添えた要望書を大村秀章知事宛てに提出した。

守る会は地元の町内

会長らでつくる。昨年十一月にも二万五百人の署名を提出し、今回は地元・一色町以外の西尾、幡豆、吉良地区など市全域から集めた。署名の合計(四万七千人)は市人口の三割弱に当たる。

要望書は「計画地の地盤は軟弱。南海トラフ地震時に液状化が想定される」「汚染水が出れば、三河湾沿岸の産業が壊滅的打撃を受ける」などとしている。

県庁で会見した鳥山美知男代表「写真①」は「地元住民の危機意識もまだ薄い。活動を維持して計画を止めた」と話した。同様の要望書を環境大臣や西尾市長にも提出する。

(相坂稜)